

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	環境政策論	
科目基礎情報							
科目番号	5916F02			科目区分	専門 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科共通			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	環境法 第2版 (有斐閣)						
担当教員	今田 浩之						
到達目標							
1. 公害・環境訴訟の動向を説明できる。 2. 環境基本法システムを説明できる。 3. 環境政策の諸手法を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル (可)	
到達目標1	公害・環境訴訟の基本的な動向に即して、その意義と課題を説明できる。			公害・環境訴訟の基本的な動向の概要説明ができる。		公害・環境訴訟の動向の要点を説明できる。	
到達目標2	環境倫理や憲法の環境権論と環境基本法システムの関連性について説明できる。			環境基本法を基軸とした法システムにつき概要説明ができる。		環境基本法を基軸とした法システムの要点を説明できる。	
到達目標3	環境政策の諸手法につき、その意義と課題を説明できる。			環境政策の諸手法につき概要説明ができる。		環境政策の諸手法につき基本的な要点を説明できる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目では、環境問題をめぐる政策的対応のあり方について総合的に学習し、その全体像を構想できるようになることを目標とする。						
授業の進め方・方法	授業では、まず、公害・環境破壊・地球環境問題の現実について、技術者の責任にも配慮しつつ共通の認識を得る。そして、新しい環境倫理を学び、公害・環境訴訟の動向も理解する。その上で、環境基本法を基軸とした環境総合政策の多様な手法を検討し、全体的に説明できる能力を身に付ける。						
注意点	様々な環境問題について、広い視野で関心を持つようにして下さい。 環境保全・環境創造を社会システム全体との関わりで考えながら履修しましょう。 参考書：環境法【第4版】（弘文堂）						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	1. 環境問題とは何か （1）公害・環境破壊			公害・環境破壊につき、水俣病問題を基本例にして説明できる。	
		2週	（1）公害・環境破壊			公害・環境破壊につき、水俣病問題を基本例にして説明できる。	
		3週	（2）地球環境問題			地球環境問題について説明できる。	
		4週	2. 環境と倫理 （1）新しい環境倫理			世代間倫理について説明できる。	
		5週	（2）新しい環境基本理念			環境基本法の三つの基本理念について説明できる。	
		6週	3. 環境法の理論・制度の経緯 （1）公害・環境訴訟			環境民事訴訟・環境行政訴訟の動向について説明できる。	
		7週	（1）公害・環境訴訟			環境民事訴訟・環境行政訴訟の動向について説明できる。	
	2ndQ	8週	（1）公害・環境訴訟			環境民事訴訟・環境行政訴訟の動向について説明できる。	
		9週	（2）環境基本法システム			憲法・基本法・個別法の体系について説明できる。 環境基本法システムの概要について説明できる。	
		10週	4. 環境総合政策 （1）環境と法・行政			規制法、環境影響評価法、循環基本法等について説明できる。	
		11週	（1）環境と法・行政			規制法、環境影響評価法、循環基本法等について説明できる。	
		12週	（1）環境と法・行政			規制法、環境影響評価法、循環基本法等について説明できる。	
		13週	（2）環境と経済			費用負担、経済的措置、環境 I S O 等について説明できる。	
		14週	（2）環境と経済			費用負担、経済的措置、環境 I S O 等について説明できる。	
		15週	（3）環境と国際関係			環境正義の意義、環境と開発、環境と国際法等について説明できる。	
16週	期末試験答案返却						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計	
総合評価割合	60	0	40	0	0	100	
基礎的能力	50	0	30	0	0	80	

專門的能力	10	0	10	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0